

# 授業科目 NO. 502 基礎看護学実習Ⅱ（看護の実践）

Fundamental Nursing Practicum II (Nursing Care Practice)

授業の形態： 実習

単位数（時間数）： 2単位（90時間）

開講年次・学期： 2年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 看護の機能・役割、コミュニケーション、患者ニーズ  
日常生活援助、看護過程展開

## 1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

## 2 学修目標

### 1) 一般目標（GIO）

講義・演習で修得した知識と技術を活かし受け持ち患者の看護過程を展開することができる。また、看護職者としての態度を修得し、看護することに対し意欲・関心を持ち、看護の喜びを体験する。

### 2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

<看護過程の展開（①②③）>

- (1) 基本的看護の構成要素（14項目）」に関するS・Oデータを収集することができる。
- (2) 「基本的欲求に影響を及ぼす常在条件」、「基本的欲求を変容させる病理的状态」のデータを収集することができる。
- (3) 「基本的看護の構成要素（14項目）」ごとに充足・未充足を判断することができる。
- (4) 未充足状態と判定した項目（1項目以上）について基本的欲求を充足するために、その原因・誘因を考えながら、体力・意思力・知識の何がどのように不足しているのかを検討することができる。
- (5) 「基本的欲求」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」・「基本的欲求を変容させる病理的状态」の情報を関連させ全体像を記載することができる。
- (6) 未充足状態と判定した項目（1項目以上）について基本的欲求の未充足状態とそれを引き起こす原因・誘因の特定（看護問題の明確化）ができる。
- (7) 患者の希望と生命への影響をふまえ、看護問題の優先順位をつけることができる。
- (8) 自立度の向上と基本的欲求の充足を目指した看護目標を、患者と共に設定することができる。
- (9) 看護目標を達成するための看護計画を、患者の個別性と5W1Hを意識して具体的に立案することができる。

- (10) 立案した計画に基づいて基本的欲求を充足するための生活行動を安全・安楽・自立に配慮し、援助することができる。
- (11) 実施した看護行為、基本的ニーズの変化、体力・意思力・知識に関する変化、身体的ケア・心の支え・再教育の実施内容を記録することができる。
- (12) 患者の行動の変容と看護目標との比較を通して、目標の達成度を判断できる。
- (13) 患者の行動が変容しない時や新たな欲求が生じた時は、計画を修正することができる。
- <看護職者としての態度 (①②③④)>
- (14) 患者に関心を向け、主体的にコミュニケーションを図ることができる。
- (15) 患者を個人として尊重する、受容的・共感的態度で接することができる。
- (16) 表情、言葉遣い、身だしなみを整え、礼儀正しくふるまうことができる。
- (17) 挨拶、実習時間を守る、患者との約束を守り誠実に対応することができる。
- (18) 実習に積極的・肯定的に取り組む、協力的にグループで行動することができる。
- (19) 必要時、教員・臨床講師に連絡・報告・相談ができる。
- (20) 相手の状況を確認し、自ら声を掛け、相手の応答を確認できる。
- (21) 疑問点を見つけ、自ら教員・臨床講師に意見を求め、指導内容を理解することができる。
- (22) 実習全体を通して学んだことや今後の課題について述べることができる。

### 3 学 修 内 容

実習の内容については、実習要項に示す。

### 4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	100%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
口頭試問	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

### 5 教 育 担 当 者

科目責任者：松井 希代子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
講 師	宮永 葵子 (基礎看護学)
嘱託講師	杉森千代子 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 教	小村 未来 (小児看護学)
助 手	白藤 友紀 (基礎看護学)
助 手	伊藤 真夕 (在宅看護学)

## 6 教育担当者の実務経験

教育担当者は全員が、看護師としての実務経験を有している。

## 7 教科書

特になし

## 8 推薦参考書

「看護学原論Ⅰ」、「基礎看護技術論Ⅰ～Ⅵ」等で用いられた教科書・資料

## 9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 実習前にオリエンテーションを行います（10月上旬の予定）。オリエンテーション時に「看護学部の臨地実習の要項」並びに「基礎看護学実習Ⅱ」実習要項を配布しますので、実習前に内容を熟読しておいてください。
- 2) オリエンテーションでは、電子カルテ閲覧に関する講義を受講していただきます。受講後は、個人情報に関する試験を受けて合格する必要があります。
- 3) オリエンテーション時にグループと実習病棟を提示します。実習病棟の専門性を考慮した基礎的知識の学修について、ノートにまとめて担当教員に提出してください。
- 4) 実習前に技術練習時間を設けます。実習グループごとに担当教員と日程を調整してしっかり練習を行ってください。練習可能な日程については、オリエンテーションで提示します。
- 5) 実習での学びをより充実したものにするため、以下について既習学修を振り返って事前学修し、適宜実習指導教員に提出してください。

### 日常生活の援助技術練習

臥床患者の清拭・寝衣交換  
座位患者の清拭  
臥床患者の陰部洗浄  
臥床患者の手浴・足浴  
座位患者の手浴・足浴  
臥床患者の洗髪  
洗髪台での洗髪  
陰部洗浄  
車椅子の移乗・移送

### 看護ヘルスアセスメント技術練習

バイタルサイン測定（体温、脈拍、呼吸、血圧、血中酸素飽和度）  
バイタルサインの報告  
呼吸音の聴取  
心音の聴取  
腸蠕動音の聴取

## 10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

評価票を基に到達度や課題を実習終了後に個別にフィードバックします。

## 11 履修上の注意事項

- 1) 健康管理を行い、実習期間中及び3回のオリエンテーションは必ず出席してください。単位認定の評価に必要な条件は、臨地実習全日数の2/3以上の出席を満たすことです（但し、1日でも欠席すると、実習目標の達成に支障をきたす可能性があります）。
- 2) 実習中の疑問・質問はなるべくその日のうちに教員・臨床講師に確認しましょう。

## 12 オフィスアワー等

オリエンテーション時に各担当教員がお知らせします。